

改題

# 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 11月号 (NO31)

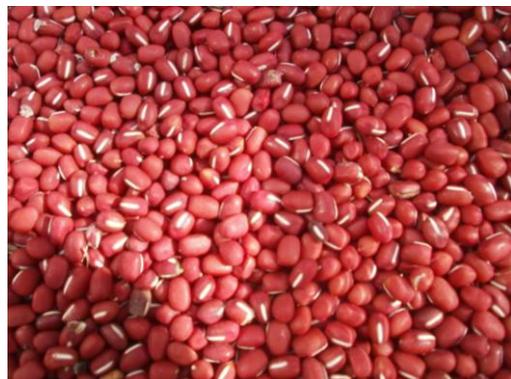
2012年11月10日 (土) 発行

## 【農暦】収穫の喜びも忘れずに！

○黒豆の収穫のため5日に笠間へ行き、今日(8日)の痛風の検査のため柏に昨夜戻った。黒豆の乾燥の段取りまで終えたかったが、日没も早く、無理は禁物と諦めて中途にして柏に戻る事にした。筑波山の付近で、交通事故の渋滞に巻き込まれ夜遅くの帰宅になってしまった。最近柏と笠間を頻繁に行き来している。交通事故を目撃する事が多い。注意せねばと思う。昨日(7日)は、アメリカ大統領選挙結果が判明する日であった。気になったが農作業で選挙速報が見られず、深夜近くになってオバマ勝利を確認出来た。1%の富者ためだけでなく、弱者の優しい政治であって欲しい。選挙結果のニュースを聞きながら中国、韓国、そして日本の政権がどうなるか強者の論理やキナ臭い政権は生れて欲しくない。不安な社会をより安心なものにと誰もが望んでいる。政局ばかりの野党にも期待が出来ない。日本の政治は“静かに”頑張るって欲しい。騒ぎ立てる世論と政治はウンザリで見誤ってはならない。“農や環境、弱者に優しい”をテーマに、人に優しい社会創りを望みたい。アメリカ大統領選挙で話を大きくしてしまった。

○最近まで、元気であった、茄子、ピーマンそれに里芋、ヤーコンなどの緑の葉が霜枯れていた。畑の景色がすっかり変わっていた。霜が2度、降ったと言われた。7日は立冬である。畑が青々している時期ではない。6日は生憎あいにくの雨、煙が逆流するストーブの相談や灯油の購入など冬の暖の準備に当てた。エコと節約を考えなくてはいけないが、中々余裕の時間が持てないので、当面は天井扇の修理をし、主力は石油ファンヒーターにする事にした。

○7日は晴、すっかり熟した黒豆の収穫をした。小豆も残りを継続し収穫、日照りで不作と云われた里芋(種芋を貰った大野芋)を試し掘りした。意外としっかり実が付いていた。ヤーコンも里芋も葉が枯れ収穫時である。農業車にしている軽バンにほぼ満載を午前1台、午後1台を収穫し乾燥するために家に運んだ。黒豆は乾燥するためにマメの木を円錐状にして乾燥するのであるが作業が間に合わず半分位は低い山にしたままにした。柏に戻る事にしていたのでギリギリまで頑張った。作業の続きは近々戻ってする事にした。最近、昼遊んでいても夜に小豆、金時の殻外し、選別などの作業をする。それでも中々終わらない。



＜赤いダイヤ?の小豆＞ 27日撮影  
夜なべの作業で殻外し、選別の前で、  
虫喰いが目立つ。

○それにしても今日は昨日の農作業が予想以上大変だったのか軽い筋肉痛を起こしている。チョットした疲労感が何とも云えない心持が良い。病院へ行く気分ではない。予約日なので行く。痛風検査の結果は、今までと同じレベルで尿酸値は少し高めであった。薬嫌いであるが、今回は周りからの勧めもあり、頑張れる体力をと思い、少しの間だけ服用することにした。発病時期など選べる筈はないが、決まって忙しい時が多い。前回の発症は4月22日で、これから夏野菜の定植の準備の時であり、谷川岳へ山登り訓練の2回目を考えていた時である。今回(22日)も小豆、黒豆の収穫や片付けを頑張ろうとした矢先のことである。グリーンジム(健康のための農作業)や農的生活は健康ライフである筈である。痛風体質は改善したい。これから、しばらくは黒豆、ヤーコン、里芋などの収穫と畑の片付け整理など作業を続け来春に備えたい。収穫の喜びも忘れずにやりたいものである。



<円錐形にして乾燥の黒豆>土楽小屋、家の周りにも、いっぱい。10日撮影

### 【楽農】何故か夏野菜が頑張っている!

<ハウス>; トマトの片付け

<畑A>; トマト、茄子、ピーマンなどを収穫。

菊(モッテノホカ)収穫(一部を出荷)

\*霜が降ってもまだ、でも、少しづつ片付け始める。

<畑B>; 金時、小豆、黒豆の収穫

### 【楽市】イベント交流・直売など

○グリーンジム本戸倶楽部(10月17-18日)

<ピッコロファームの共同圃場>

①□ 落花生、白茄子、ジャンボシシトウを収穫、選別、包装出荷。

\*落花生は半分のみ収穫(土楽小屋の軒下で乾燥保管)

②、ニンニクの植込み、10cm程に生育。

\*農作業後、那須のKさんの農園の見学。有意義で楽しい2日となった。

\*詳細はブログの“ピッコロファーム楽農・楽市”に掲載。

○笠間市吟詠剣詩舞道大会(公民館まつり)に参加(10月21日)

笠吟連の主催の第45回記念の大会である。一般の来客が少ない。継承したい文化である。見て貰うための工夫があっても良いのかな?と思った。

### 【つぶやき=Tweet】“矛盾だらけのコメ政策見直せ”の読売の社説に共感!

○久しぶりに、交通渋滞に巻き込まれた。1度は事故絡みで、続いて2度あった。そこで思った事だが、先で1車線になるのを承知してかしないかで渋滞を尻目にすいすいと走り先



<道の駅 東山道伊王野の水車小屋>水車で挽いたそば粉の蕎麦は美味しかった。那須訪問の帰りに。18日撮影

に進み横入りをする。車と云う仮面を付けている事なのか、運転には性格が出ると云うが、他人のマナーの良い事につけこんで、“ズルイ奴が得をする”は腹立たしい。ズルをする積りでない人もいると思うが、確信犯が多い様に見える。高級車は横柄（紳士も多いが）、小型車は勝ち気、プロの運転者は親切な人と意地悪な人に2分される。総じて親切な人が多い。稚拙と乱暴とズルイとの見分けが難しい部分があるが、これが交通事故の引き金になる場合が多いと思う。何故こんな所だと思う事故現場が多い。



#### <PENNYLANEで朝食>

那須のKさんのお薦めで朝食。評判のパンはお土産に。18日撮影

○震災ではマナーの良い日本人が国際的に評価を受けたが、こんな姿を見たら取り下げられる。ズルイ利得好きな人が目立って見えてならない。齢を重ねた人に意外と多い。何に対しても、であるが“志”持てない事によることが、この社会風潮なって来ている“ズル得”の遠因なのかもしれない。卑しい心が更に卑しくなるような交通渋滞遭遇であった。



#### <ふれあいコンサート> 孫娘の部活の演奏参加が多い。地元で。28日撮影

○水戸のKYさんから“矛盾だらけのコメ政策見直せ”の読売新聞の11月5日の社説が添付ファイルで“共感出来る内容でしたので”とメールで送信されて来た。直ぐに読んでみる。そして返信した。“記事紹介有難う御座います。読売の社説に同感です。農政の貧困にはウンザリです。JAは農家を食べ物にせず、農家を支援し指導する団体であって欲しいですね。JAは自己の利益のために圧力団体として農政にモノ申すのではなく、真の農業振興や良い意味で農政をただすものであって欲しいですね。”とメールを送った。少々厳しい言い方になるが、TPPを保身的に反対する前に、先進的な篤農家はグローバルに頑張っているのである“農業振興”のために何が必要かを考えて欲しいものである。“豊作でも高値”の小見出し付いた、この社説は農政、農協の問題を言い当てている。日本の主食のコメを巡る問題が良く判ると思うので、短文なので読んで欲しい。

【後記】食欲の秋、芸術の秋。“のぼうの城”を見た。忍城跡の忍中学卒の私、本題とは別の懐かしいものがあつた。たまには映画館へ。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；[torao-k@nifty.ne.jp](mailto:torao-k@nifty.ne.jp)

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>